



議長の安元副会長

1 第4回通常総会の開催

第4回通常総会が、平成27年5月26日午後3時30分から東海大学校友会館において開催された。

総会議長に安元副会長が選出され審議が行われ、平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の事業報告・決算報告、平成27年度事業計画・予算について承認された。

また、公益目的支出計画実施報告書の総会への報告を行った。

つづいて、役員を選任について審議がおこなわれ、5月に行われた正会員会社の記名連記式投票による選挙の結果から第1回理事会で選出された正会員14名と特別会員から推薦された8名、監事2名が全会一致で承認された。

会長、副会長、専務理事の選任

総会終了後開催した理事会において、会長、副会長、専務理事の選任について協議した結果、会長には、古川実氏(日立造船(株)代表取締役、取締役会長兼CEO)がまた副会長には安元豊氏(日立造船(株))、山田良介氏(新日鉄住金エンジニアリング(株))、松村史朗氏(株タクマ)、専務理事に高木宏明氏((一社)日本環境衛生施設工業会)がそれぞれ選任された。

会長表彰

工業会の事業活動に永年貢献された功績により、次の4氏が会長表彰を受け、受賞者を代表して小林氏から謝辞があった。

伊東 久雄氏

(エスエヌ環境テクノロジー(株))



第4回通常総会であいさつする古川会長

会長表彰を受賞した4名
(左より伊東氏、宇野氏、小林氏、秩父氏)

宇野 晋 氏(株タクマ)
 小林 誠 氏(水ing 株)
 秩父 薫雅氏(株神鋼環境ソリューション)

2 理事会の開催

次の各日程及び議題により、理事会が開催され審議が行われた。

- ◇平成 27 年 5 月 12 日(第 1 回)
 - ・会長表彰について
 - ・特別会員の入会について
 - ・特別会員の理事及び監事への推薦並びに正会員の理事の選出について
 - ・第 4 回通常総会議案について
 - ・公益目的支出計画実施報告書等について
 - ・職務の執行状況報告について
- ◇平成 27 年 5 月 26 日(第 2 回)
 - ・会長、副会長、専務理事及び常任理事の選定について
 - ・議長の代理順位について
 - ・顧問について
- ◇平成 27 年 7 月 7 日(第 3 回)
 - ・執行状況報告について
- ◇平成 28 年 3 月 7 日
 - ・平成 27 年度決算見込みについて
 - ・平成 28 年度暫定予算案について
 - ・執行状況報告について



大臣表彰を受けた 4 氏
 (左より長谷川氏、南部氏、森川氏、菊池氏)

3 環境大臣表彰

廃棄物等の発生抑制、循環的な利用及び適正処分又は浄化槽によるし尿及び、雑排水の適正処理に関する研究開発、技術開発において、学術的、実用的に優れた業績を上げ、その成果によって廃棄物処理事業又は浄化槽関係事業の発展に対する顕著な功績により環境大臣表彰(廃棄物・浄化槽研究開発功労者)が、南部辰紀氏(株IHI 環境エンジニアリング)と森川則三氏(株西原環境)に、また、一般廃棄物処理に関する公益法人等において当該事業の向上及び発展に顕著な功績により環境大臣表彰(一般廃棄物関係事業功労者)が、菊池昭二美氏(川崎重工 株)と長谷川公三氏(新明和工業株)に授与されることになり、平成 27 年 10 月 21 日に京都テルサ西館 1 階メインホール(京都市)で開催された第 59 回「生活と環境全国大会」の式場で表彰状が授与された。

後日、表彰を受けた 4 氏に対し、工業会から記念品が贈呈された。

4 東日本大震災対策等

・平成 27 年度の重点取組みとして、前年度に引続き東日本大震災対策を積極的に取り組んだ。

具体的には、①環境省、地方公共団体、関係団体と連携・協力しつつ、廃棄物処理施設の復旧や災害廃棄物対策に取り組んだ。②特に、災害廃棄物の円滑な処理のため、国、地方公共団体による災害廃棄物の処理計画策定や処理事業の推進に対して、工業会会員の能力、技術を結集して取り組んだ。③放射性物質に汚染された廃棄物の処理について、知見の収集に努め貢献するよう取り組んだ。

福島県については、災害廃棄物の迅速な処理が課題であるが、会員企業も、減容化施設の建設事業など処理体制整備に協力してきた。ま



職員から説明を受ける見学者
(いわみざわ環境クリーンプラザ)

た、その円滑な事業推進に向けて、所用の対応に務めている。

5 建設運営一体事業研究会セミナーの開催

平成 28 年 3 月 18 日に、東京エコサービス(株)取締役事業開発部長の浅香義久氏に「電力システム改革の廃棄物発電への影響」と題してご講演いただいた。

6 施設見学会の開催

- ・企画運営委員会施設見学会

平成 27 年 7 月 23 日に北海道岩見沢市のいわみざわ環境クリーンプラザに見学会を行い会員会社から 14 名が参加した。

- ・技術委員会施設見学会

平成 27 年 9 月 7 日に北海道岩見沢市の



コペンハーゲンのアマーごみ焼却施設
(建設中の新施設)

いわみざわ環境クリーンプラザに見学会を行い会員会社から 21 名が参加した。

7 海外環境事情調査

平成 27 年 10 月 25 日から 11 月 1 日まで、デンマーク、フィンランド、フランスにおける廃棄物処理施設などを藤井輝典氏(水ing(株))を団長に企画運営委員会等の有志 13 名で廃棄物の処理の事業形態を主眼に置いた調査を実施した。デンマークではごみ処理施設の屋上を利用した人工スキー場、フィンランドでは、極寒回避策としての岩盤を利用した地下の下水処理施設、フランスでは広域的な自治体が株主となった民間会社による運営と、三者三様の事業形態で今後の日本における廃棄物処理方法の将来像(広域化、民営化等)を考える上での貴重な経験となった。

8 関係団体との共催

- ・平成 27 年 7 月 22 日に、(一社)環境衛生施設維持管理業協会(JEMA)と工業会の技術委員により情報・意見交換等の検討会を開催し相互理解を深めた。

9 関係団体等の各種委員会等への参画

- 1) 環境省
 - ・「巨大地震発生時における災害廃棄物対策検討委員会」
 - ・「中央環境審議会大気・騒音新藤部会大気排出基準等専門委員会」
- 2) (公社)全国都市清掃会議
 - ・「第 37 回全国都市清掃研究・事例発表会」実行委員会
 - ・ごみ処理施設整備の計画・設計要領(改訂版)査読委員会
- 3) (一財)日本環境衛生センター
 - ・「一般廃棄物処理施設管理技術講習会」検討委員会

- ・「環境大臣表彰中央推薦委員会」
 - ・「平成 27 年度廃棄物発電の高度化支援事業検討会」
 - 4) (一社)廃棄物処理施設技術管理協会
 - ・「環境技術会誌」編集委員会
 - ・「廃棄物処理技術管理者継続学習認定システム」委員会
 - 5) (公財)日本産業廃棄物処理振興センター
 - ・「テキスト作成委員会」
 - ・「教育研修運営委員会」
 - 6) (株)三菱総合研究所
 - ・「市町村等による廃棄物処理施設整備の適正化推進事業検討委員会」
 - 7) 東洋設計株式会社(環境省委託分)
 - ・「平成 27 年度廃棄物バイオマス利活用導促進事業検討会」
 - 8) (株)エックス都市研究所
 - ・「平成 27 年度市町村等による水銀大気排出抑制対策調査検討会」
- 10 関係団体等の各種講習会等への講師派遣**
- 1) (一財)日本環境衛生センター (講師派遣延べ 54 名)
 - ・平成 27 年度「廃棄物処理施設技術管理者講習会」 (講師派遣延べ 49 名)
 - ①中間処理施設コース (2 名)
 - ②産業廃棄物焼却施設コース (10 名)
 - ③破碎・リサイクル施設コース (23 名)
 - ④有機性廃棄物資源化施設コース (5 名)
 - ⑤ごみ処理施設コース (9 名)
 - ・第 59 回生活と環境全国大会 (講師派遣 1 名)
 - (一社)日本環境衛生センター(西日本支局)
 - ・平成 27 年度技術管理者等スキルアップ研修会及び廃棄物処理施設技術管理者等研修会 (講師派遣延 4 名)
 - ①ごみ処理部門 (2 名)
 - ②し尿・汚泥再生処理部門 (2 名)
 - 2) (公財)日本産業廃棄物処理振興センター (講師派遣延 9 名)
 - ・産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の収集・運搬/処分課程(更新講習会) (3 名)
 - ・産業廃棄物の収集・運搬/処分課程(新規講習会) (6 名)
 - 3) 中央労働災害防止協会 (講師派遣延べ 12 名)
 - ・「ダイオキシン類業務に係る作業指揮者養成研修会」(東京分) (8 名)
 - ・「ダイオキシン類作業従事者特別教育インストラクターコース」(大阪分) (4 名)
 - 4) (一社)廃棄物処理施設技術管理協会 (講師派遣延 3 名)
 - ・第 36 回廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会 (講師派遣 1 名)
 - ・平成 27 年度廃棄物処理施設技術管理セミナー (講師派遣 2 名)
 - 5) (一社)環境衛生施設維持管理業協会
 - ・第 28 回事業所管理者研修会 (講師派遣 4 名)
 - 6) (一社)廃棄物資源循環学会
 - ・第 11 回廃棄物法制度セミナー (講師派遣 1 名)
 - 7) (株)廃棄物工学研究所 (講師派遣延べ 3 名)
 - ・平成 27 年度特別企画シンポジウム「低炭素社会の実現に向けて～地域エネルギーの創世と防災センターとしての清掃工場」 (講師派遣 1 名)
 - ・平成 27 年度特別企画シンポジウム「低炭素社会の実現に向けて～電力自由化と廃棄物発電」 (講師派遣 2 名)